

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 田原 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語, 数学)

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none"><li>・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにしていることが望ましい知識・技能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li><li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力</li></ul>

#### (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語A・B, 数学A・B)の結果

本年度の結果	国語A		国語B		数学A		数学B	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	24.5	77	6.3	70	22.2	62	6.8	45
全国	24.8	77	6.5	72	23.3	65	7.2	48

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

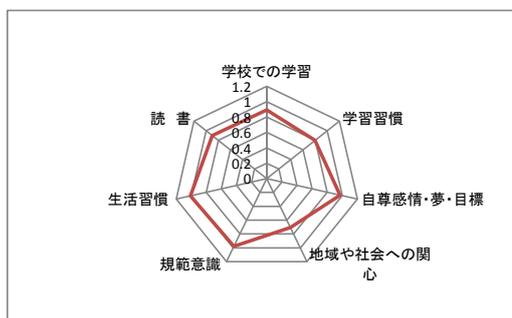
国語A	全体的な傾向や特徴など	・漢字を書き力が不足しており、全国平均を大きく下回っている。 ・話すことや聞くことに関する力が不足しており、課題が残る。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	・古典の種類についての知識は、全国平均を大きく上回っている。	
	努力が必要な問題	・漢字の書き取りや語句の理解を問う問題に、課題がある。	

国語B	全体的な傾向や特徴など	・書くこと、読むことに関する力が全体的に不足している。 ・自分の考えを文章で表現する問題に課題がある。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	目的に応じて資料を効果的に活用する問題の正答率が高い。	
	努力が必要な問題	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く問題の正答率が低い。	

数学A	全体的な傾向や特徴など	・数と式、図形、関数のどの領域も、全国平均を下回っている。 ・作図に関しては、全国平均とほぼ同程度の正答率だった。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	資料を活用する問題の、言葉の意味を問う問題の正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	立体の体積や、図形における線分の長さを答える問題の正答率が低かった。	

数学B	全体的な傾向や特徴など	・数と式、図形、関数のどの領域も、全国平均を下回っている。 ・資料の活用については、全国平均とほぼ同程度の正答率であった。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	情報を事象に即して解釈する問題においては、全国の正答率を上回っていた。	
	努力が必要な問題	事象を数学的に処理する問題や、図形の証明問題では特に努力が必要である。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・基本的な生活習慣が確立されている生徒が多く、規範意識も高いので、落ち着いた学校生活が送れている。
・学校での学習に対する意欲が低く、家庭での学習習慣も確立されていない生徒が多い。
・地域等の行事に参加している生徒が少なく、地域とのつながりを深めていく必要がある。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての授業においてめあてカードを使用し、振り返りの学習についても充実させていく。</li> <li>○朝自習を利用して、漢字の書き取り、計算問題、英単語の学習等の基礎学力を養成する。</li> <li>○全学年で主体的、対話的で深い学びを目標とした授業を実践していく。</li> <li>○教科ごとの取り組み(天声人語の書き写し、理科ノートコンテスト、英語検定の受検)のさらなる充実を図る。</li> <li>○書く力をつけるために、行事が終わるごとに感想文を書かせるようにする。</li> <li>○ICT機器を有効に使い、分かりやすい授業づくりに努める。</li> <li>○教員の指導力向上のために、授業研究等の研修の充実にも努める。</li> </ul>
--

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科において、計画的に宿題を課し、家庭学習習慣を確立させる。</li> <li>○週末課題や連休中の課題を与えることで、休日における家庭学習の充実を図る。</li> <li>○冬休み、春休みには各教科独自の課題を与え、学力向上を図る。</li> <li>○学校便り等で本校の学力について保護者に周知し、課題を共有することで協力体制を整える。</li> <li>○小学校卒業から中学校入学までに課題を与え、学習意欲の向上を図る。</li> </ul>
---